

3/31(金) 2017年プロ野球が開幕! スポナビライブは今年もプロ野球を生&見逃し配信!!

## 「パ・リーグ ファンの応援生態白書 2017」

各球団ファンが最も天敵視する選手は? 5球団ファンが「大谷翔平選手」挙げる。最多はホークスファンの68%

今季の優勝をホークスファンの92%が確信の一方で、パファローズファン「当分優勝は無理」が55%

今季シーズン前に最も視聴されたシーンは、『2/9 ファイトアーズ春季キャンプ・石井一成選手の活躍』

「風呂で気づくと応援歌」のロッテファン(47%)、「負け確信でTVプツリ」の西武ファン(51%)

「エア予定(架空の予定)」駆使し応援経験が最もあるのは、楽天ファン(48%)など、ファンの生態明らかに

ネットLIVE中継に9割超のファンが興味。「移動中(57%)」「職場/学校(33%)」など宅外で観たいニーズが増

スマートフォン、PC、テレビ等向けにプロ野球の配信を行う、ソフトバンク株式会社のスポーツ中継ストリーミングサービス「スポナビライブ」では、プロ野球2017年シーズン開幕を記念し、パ・リーグ各球団のファン924名の日頃の応援習慣や日常生活、今シーズンの展望について尋ねるインターネット調査を実施し、その結果をスポナビライブの実視聴データと共に分析し、「パ・リーグ ファンの応援生態白書 2017」を取りまとめました。

### (1)ファンが占う2017年シーズンの行方。期待の若手と天敵候補、優勝予想は?

p.2~

- ・今シーズン、各球団ファンが最も天敵視する選手は?…5球団のファンが「大谷翔平選手」をトップに挙げるなかでも「大谷翔平選手を最も天敵視」しているのは、ソフトバンクファン(ファンの68%)
- ・ファンの8割が「ソフトバンク」「日本ハム」2強予想。「最も活躍しそうなドラ1」には田中正義選手が選ばれる各球団ファンが選ぶ期待の若手 No.1 には、茂木(楽天)、平沢(ロッテ)、今井(西武)、吉田正(オリックス)ら

### (2)ファンはキャンプ・オープン戦をどう観た?! 注目の“ストリーミング中継”視聴データから分析!

p.4~

- ・2017年シーズン前「スポナビライブ」最多視聴ランキング上位10本を発表!!  
トップは『2/9 日本ハム 春季キャンプ・石井一成選手の活躍』。各球団とも若手の活躍で視聴者数を伸ばす復活を期す松坂大輔選手(ソフトバンク)の配信も、視聴者数TOP10中に3本
- ・ネット生中継を外出先で観たいファン増加! 9割のファンがストリーミングに興味。「自宅(65%)」で観たいに続き、「移動中(57%)」「職場/学校(33%)」など屋外で観たい声が増加 など

### (3)男女別・球団別に見たファンの応援生態の違いとは?

p.6~

- ・パ各球団ファン選定! 「女性ファンが最も可愛く見えるユニフォーム姿」は、日本ハムファン(32%)
- ・「エア予定(架空の予定)」使い他の予定より応援を優先した経験が最もあるのは、楽天ファン(48%)
- ・「負け確信するとTVをプツリ」率が最も高いのは、西武ファン(51%)
- ・「風呂で気づくと応援歌を歌っている」率が最も高いのは、ロッテファン(47%)
- ・「家族がいるとリビングで試合が見れない」率が最も高いのは、オリックスファン(50%)
- ・「今春キャンプにまで応援に行った」率が最も高いのは、ソフトバンクファン(41%)
- ・ファン選出! 歴代最強助っ人 No.1 は? 現在籍選手ではサファテ選手(ソフトバンク)が唯一トップに選ばれる。一方で西武ファンは今もデストラーデ氏を今も最も支持
- ・「合コンよりも応援を優先」する女性ファンが53%、「応援より合コンを優先する」男性ファンが68% など

本件に係るスポナビライブ特別ページ(3月28日18:00公開予定) [http://cf.sports.mb.softbank.jp/featured/npb\\_research/](http://cf.sports.mb.softbank.jp/featured/npb_research/)

## (1)ファンが占う2017年シーズンの行方。期待の若手と天敵候補、優勝予想は？

**ソフトバンクファンの68%が「大谷選手」を天敵視。日本ハムファンの63%が「柳田選手」らホークス選手を警戒**

3月31日(金)に開幕する今シーズンのパ・リーグ。今年も熱い闘いが期待されますが、各球団のファンは今シーズンの行方をどのように考えているのでしょうか？まず各球団のファンは、他球団のどの選手を、今シーズンにおける自チームの『天敵』として捉えているのかを尋ねました。調査によると、日本ハムファンを除く他5球団のファンが大谷翔平選手(日本ハム)を今シーズンの天敵候補として捉えており、特にその数の最も多いソフトバンクファンにおいては、ファンの68%が大谷選手の名前を挙げています。対する日本ハムファンに最も『天敵』視されたのは柳田悠岐選手(ソフトバンク)が16%と最も多く、同選手をはじめトップ5全てをソフトバンクの選手が独占し、ファンの計63%がソフトバンクの選手を天敵候補として警戒していました。両チームのファンがお互いを強くライバル視している様子が窺えます【図1】。

【図1】各球団のファンが選んだ『今季の天敵候補』ランキング(上位5位のみ) N=924(各球団ごとにN=154)

日本ハムファン選定 TOP5			楽天ファン選定 TOP5			西武ファン選定 TOP5		
柳田悠岐	ソフトバンク	15.6%	大谷翔平	日本ハム	37.7%	大谷翔平	日本ハム	27.9%
松田宣浩	ソフトバンク	9.7%	金子千尋	オリックス	6.5%	武田翔太	ソフトバンク	10.4%
武田翔太	ソフトバンク	7.1%	和田毅	ソフトバンク	6.5%	岸孝之	楽天	9.7%
内川聖一	ソフトバンク	6.5%	武田翔太	ソフトバンク	5.8%	柳田悠岐	ソフトバンク	6.5%
千賀滉大	ソフトバンク	6.5%	中田翔	日本ハム	5.2%	和田毅	ソフトバンク	5.8%
ロッテファン選定 TOP5			オリックスファン選定 TOP5			ソフトバンクファン選定 TOP5		
大谷翔平	日本ハム	37.0%	大谷翔平	日本ハム	37.7%	大谷翔平	日本ハム	68.2%
デスパイネ	ソフトバンク	12.3%	柳田悠岐	ソフトバンク	6.5%	中田翔	日本ハム	3.2%
千賀滉大	ソフトバンク	5.8%	武田翔太	ソフトバンク	6.5%	中村剛也	西武	1.9%
柳田悠岐	ソフトバンク	3.9%	内川聖一	ソフトバンク	5.2%	細川亨	楽天	1.9%
和田毅	ソフトバンク	3.9%	岸孝之	楽天	3.2%	岸孝之	楽天	1.9%

**自チームの優勝を疑わないホークスファン(92%)、「正直しばらく優勝は無理」と思っているオリックスファン(55%)**

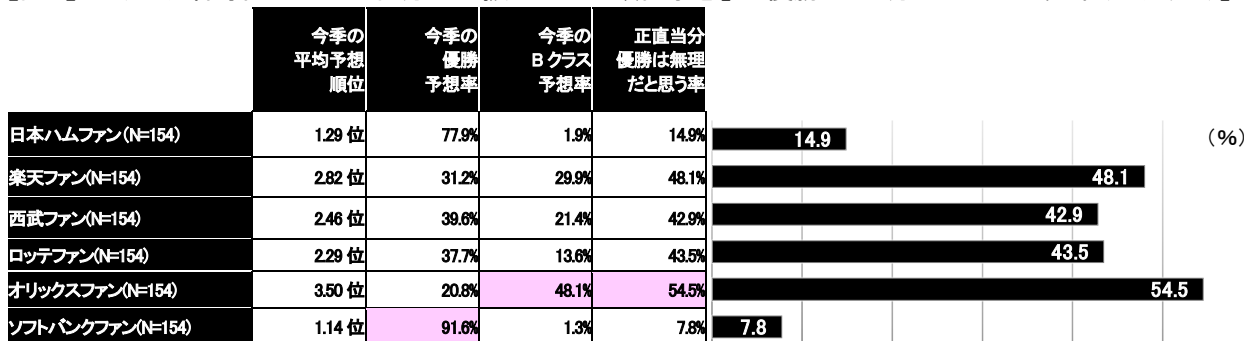
つづいて今シーズンの順位予想について各球団のファンに聞くと、約8割のファンが「ソフトバンク」「日本ハム」の2強を予想しています(ソフトバンク/パ・ファン全体の49%が1位予想、パ・ファン全体の30%が2位予想)、日本ハム/同27%が1位予想、同50%が2位予想)。特に92%のソフトバンクファンは自チームの優勝を予想しており、今シーズンへの強い自信があることが窺い知れます【図2】。

一方で、自チームの評価に厳しめだったのがオリックスファンで、ファンのおよそ半数にわたる48%が自チームをBクラス予想し、さらには「正直しばらく優勝は無理だと思っている」ファンが半数以上(55%)いることが分かりました。オリックスの選手達には、こうしたファンの期待をいい意味で裏切る快進撃を期待したいですね【図3】。

【図2】パ・リーグファンが考える今シーズンの1、2位予想

	1位予想						2位予想					
	日本ハム	楽天	西武	ロッテ	オリックス	ソフトバンク	日本ハム	楽天	西武	ロッテ	オリックス	ソフトバンク
パ・リーグファン全体(N=924)	27.4	5.8	7.4	6.6	3.8	49.0	49.7	5.7	5.4	6.8	2.6	29.8
日本ハムファン(N=154)	77.9	0.0	0.6	0.6	0.0	20.8	18.8	7.1	2.6	4.5	1.9	64.9
楽天ファン(N=154)	24.7	31.2	0.6	0.0	0.6	42.9	53.9	7.8	3.9	5.8	2.6	26.0
西武ファン(N=154)	15.6	0.6	39.6	0.0	0.6	43.5	53.2	7.1	8.4	5.2	1.3	24.7
ロッテファン(N=154)	14.9	1.3	1.3	37.7	0.6	44.2	48.1	3.9	6.5	14.3	1.9	25.3
オリックスファン(N=154)	24.7	1.3	1.3	0.6	20.8	51.3	51.3	3.9	3.9	3.9	6.5	30.5
ソフトバンクファン(N=154)	6.5	0.6	0.6	0.6	0.0	91.6	72.7	4.5	7.1	7.1	1.3	7.1

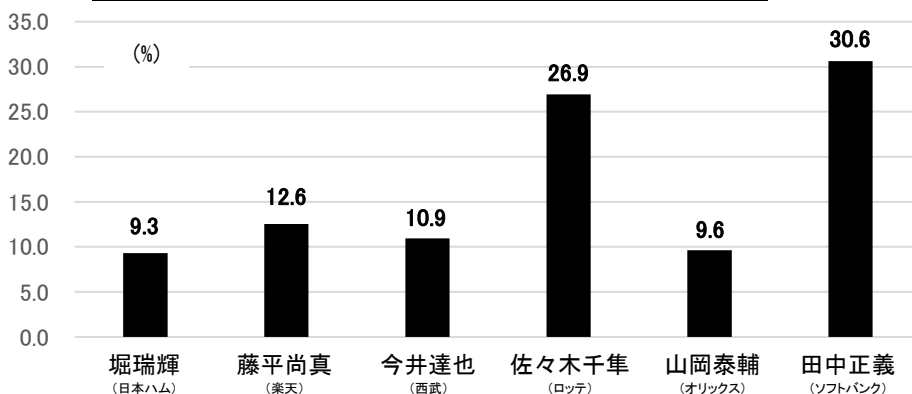
【図3】パ・リーグ各球団ファンの「自分の応援チームの順位予想」と「優勝は“当分無理だと思う”率(右グラフ)」



「最も活躍しそうなドラフト1」TOP は田中正(ソフトバンク)。各ファン選出若手 No.1 には、茂木(楽天)、平沢(ロッテ)ら

各球団のファンにとって、“期待の若手”の成長を見守れることは、自チームの好成績と同じくらの楽しみなことかも知れません。そこで各球団のファンに、今シーズン最も活躍しそうなドラフト1位を尋ねると「田中正義選手(ソフトバンク)」を挙げる声が最も多く31%にのぼりました。次いで「佐々木千隼選手(ロッテ)」が27%とつづいています。【図4】

【図4】パ・リーグファンが選ぶ今季最も活躍しそうなドラフト1位選手(N=924)



次に各ファンに「自チームの今季最も期待する若手」について尋ねると、ここでも日本ハムファン中最多の34%の期待を集めた大谷翔平選手を除き、茂木栄五郎選手(楽天ファン中最多の20%)、平沢大河選手(ロッテファン最多の31%)、今井達也(西武ファン中最多の14%)、吉田正尚(オリックスファン中最多の42%)、田中正義(ソフトバンクファン中最多の21%)と、いずれも入団1~2年目のフレッシュな若手選手たちに期待が集まっていることが分かりました。【図5】

【図5】各球団のファンが選んだ『今季期待の若手』(上位5位のみ) N=924(各球団ごとにN=154)

日本ハムファン選定 TOP5		楽天ファン選定 TOP5		西武ファン選定 TOP5	
大谷翔平	33.8%	茂木栄五郎	20.1%	今井達也	14.3%
西川遥輝	8.4%	安楽智大	13.6%	高橋光成	11.7%
浅間大基	6.5%	松井裕樹	12.3%	森友哉	10.4%
石井一成	3.9%	オコエ瑠偉	10.4%	山川穂高	9.1%
上原健太	3.9%	藤平尚真	4.5%	秋山翔吾	7.1%
ロッテファン選定 TOP5		オリックスファン選定 TOP5		ソフトバンクファン選定 TOP5	
平沢大河	31.2%	吉田正尚	42.2%	田中正義	21.4%
佐々木千隼	25.3%	青山大紀	6.5%	上林誠知	16.9%
中村奨吾	4.5%	金子千尋	5.2%	真砂勇介	7.1%
石川歩	4.5%	T.岡田	4.5%	今宮健太	7.1%
涌井秀章	3.2%	駿太	4.5%	高橋純平	5.8%

## (2)ファンはキャンプ・オープン戦をどう観た?! 注目の“ストリーミング中継”視聴データから分析!

### 2017 キャンプ・オープン戦で最も視聴されたのは 2/9 の日本ハム・キャンプ。復活期す松坂選手の登板も人気

“期待の若手”の成長を見守りたいという各球団ファンの想い(p.3)は、スポーツ中継ストリーミングサービス「スポナビライブ」の視聴者数データを見ても明らかです。「スポナビライブ」の2017年の年明け以降の各配信の視聴者数を比較すると、練習試合やオープン戦などで22歳以下の若手選手が活躍した日ほど、視聴者数が多いことが分かります。今年公開されたパ・リーグ関連の配信の中で最も視聴されたのは2月9日(木)の『日本ハム春季キャンプにおける練習試合』の模様でした。米国・アリゾナ州でキャンプ中だった昨季日本一の日本ハムがチーム初実戦に臨んだ試合で、海外キャンプまで足を運べないファンの期待と、ドラフト2位のルーキー・石井一成選手の活躍が、ファンの大きな注目を集め視聴者数を多くしたものと考えられます。2017年3月20日までのスポナビライブ「パ・リーグ」関連動画の視聴者数の上位10本は下表の通りですが、今季の復活を期す松坂大輔選手(ソフトバンク)関連の配信も3本がランクインしており、注目度の高さが窺えます【図6】。

【図6】2017年スポナビライブ「パ・リーグ」関連の視聴者数ランキング上位10件(1月1日～3月20日時点)

NO	日付	曜	内容	メインピックとなった 22歳以下の若手選手
1	2月9日	木	<b>日本ハム</b> 春季キャンプ →ルーキー石井一成が初の対外試合で躍動	石井一成
2	2月25日	土	ヤクルト vs. <b>ロッテ</b> (オープン戦) →ロッテが4投手で完封リレーし、期待の新助っ人も本塁打2発	—
3	3月4日	土	3/4 ヤクルト vs. <b>ソフトバンク</b> (オープン戦) →ソフトバンクのオープン戦初戦。松坂が先発し3回2失点	—
4	3月14日	火	日本ハム vs DeNA (オープン戦) →大谷翔平、甘いボールを逃さず特大の2ランHR!	大谷翔平
5	3月18日	土	<b>西武</b> vs. ソフトバンク (オープン戦) →松坂が脚の違和感訴え降板	—
6	2月26日	日	西武 vs. <b>楽天</b> (練習試合) →西武メヒアが練習試合で特大弾 楽天の先発古川は5回4失点	古川侑利
7	2月1日	水	ソフトバンクキャンプ →ソフトバンク工藤監督、球春危機一髪! 松坂への返球ボールが…	—
8	3月1日	水	西武 vs. ロッテ (練習試合) →森友哉が豪快なフルスイングで先制HR	森友哉
9	2月8日	水	<b>オリックス</b> キャンプ →フルスイングでオリックス・吉田正尚が紅白戦特大弾	吉田正尚
10	2月19日	日	ロッテ紅白戦 →ロッテの黄金ルーキー・佐々木千隼が無失点デビュー	佐々木千隼

\*表中の下線表記は、球団別の最多視聴者を集めた配信を表しています

### 「大谷翔平選手出場試合」での2016視聴者数ランキング。1位はやはり…胴上げ投手となったあの試合に

日本ハムファンの熱い期待だけでなく、各球団のファンにも『今季の天敵候補 No.1』としてマークされる(p.2)、いまパ・リーグで最も注目を集める大谷翔平選手ですが、昨季に大谷選手が出場した試合における「スポナビライブ」視聴者数を見てみると、最も多く視聴されたのは『15奪三振の活躍で胴上げ投手となった9月28日のvs 西武戦』でした。以下、下表のとおりでクライマックスシリーズの試合がつづいています。尚この試合の配信は、2016年に「スポナビライブ」で公開された全ての映像の中で最多視聴者数も記録しており、記録づくめの大谷選手を象徴する結果でした。今シーズンもさらなる活躍でパ・リーグを盛り上げてほしいですね【図7】。

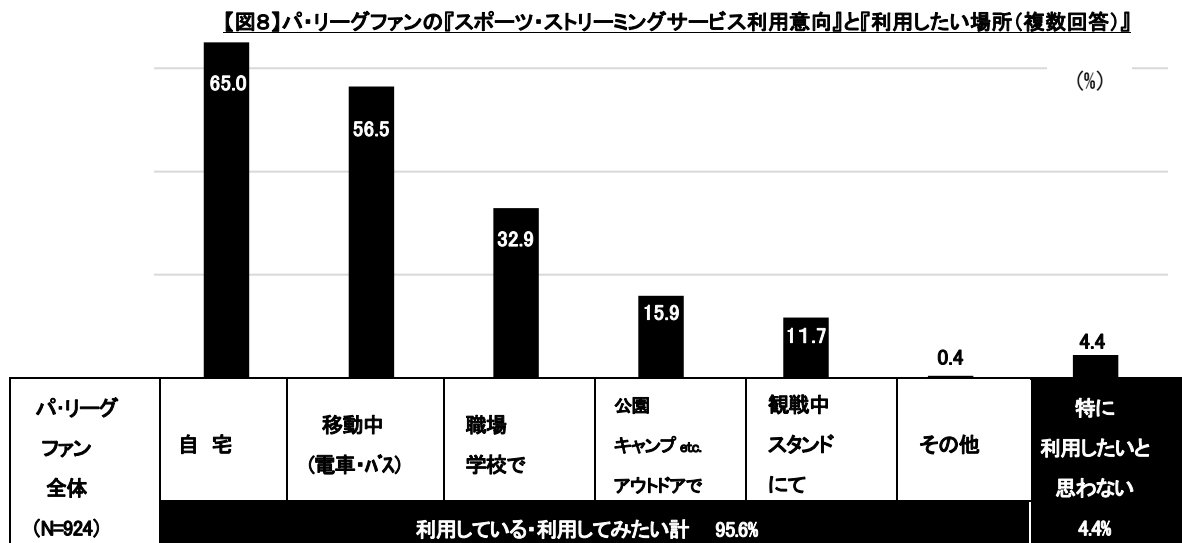
【図7】2016年大谷翔平選手 出場試合におけるスポナビライブ視聴者数ランキング上位10件

NO	日付	対戦相手	内容	NO	日付	対戦相手	内容
1	9月28日	西武	15奪三振で胴上げ投手に	6	4月1日	ソフトバンク	スピードガン計測ミスで180km 記録
2	10月16日	ソフトバンク	クライマックスシリーズで最速165km 記録	7	3月25日	ロッテ	開幕投手も惜敗
3	10月12日	ソフトバンク	クライマックスシリーズで勝利	8	5月1日	ロッテ	初完投初勝利
4	9月21日	ソフトバンク	天王山制す9勝目	9	6月12日	阪神	163キロ連発の好投
5	7月3日	ソフトバンク	先頭打者HR&8回0封	10	9月13日	オリックス	164キロも糸井にタイムリー打たれる

## 9割のファンがストリーミングに興味。「自宅(65%)」「移動中(57%)」「職場/学校(33%)」で観てみたい

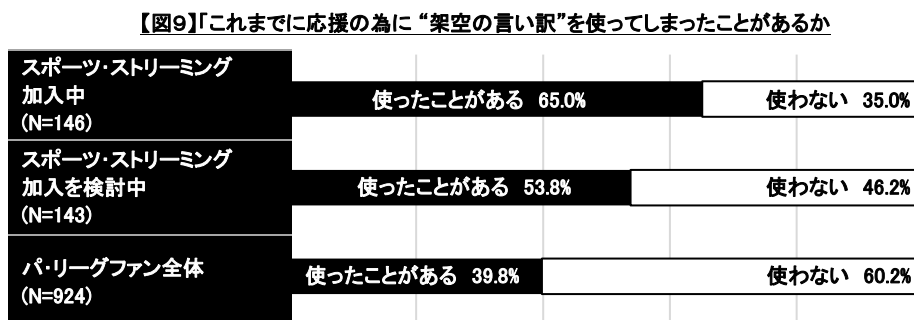
“スポーツのネット視聴元年”とも言われる2017シーズン。スマートフォンやPC等を用いて屋外や移動中でも試合中継を見られる『スポーツ・ストリーミングサービス』を、各球団のファンはどのように捉えているのでしょうか？各球団のファンにこれらを「利用したいと思うか」を尋ね、また利用したいファンには何処で利用してみたいのかを聞きました。

調査の結果、パ・リーグファンの96%が「現在利用中」または「何らかの『スポーツ・ストリーミングサービス』を利用してみたい」と現在考えており、利用シーンとして「自宅(65%)」「移動中(57%)」「職場/学校(33%)」を考える人が多いことが分かりました。ネット生配信・中継の普及により、視聴できるシーンがテレビの前に限られなくなったことで、観戦スタイルのさらなる多様化をファンが期待していることが窺い知れます【図8】。



## 「エア予定」でコッソリ観戦はこりこりで加入？ストリーミング加入者の65%が「架空の予定を言い訳」にした過去

現在『スポーツ・ストリーミングサービス』を利用中の各球団のファンとはどんな方たちなのでしょう。スマートフォン等向けにパ・リーグ全主催試合の完全生配信を今シーズン行うスポーツ中継ストリーミングサービス「スポナビライブ」の現加入者に聞くと、自身の体調不良(仮病)や、仕事の架空の会議・外出など、65%の人が過去に「架空の予定を言い訳にして応援を優先した」経験があると回答しています。加入を検討中の人も54%のファンに同じ経験があり、“エア予定”を使ってまでコッソリ応援・観戦するのを避ける為、こうしたサービスへ加入した(検討している)ファン心理が窺えます。【図9】。

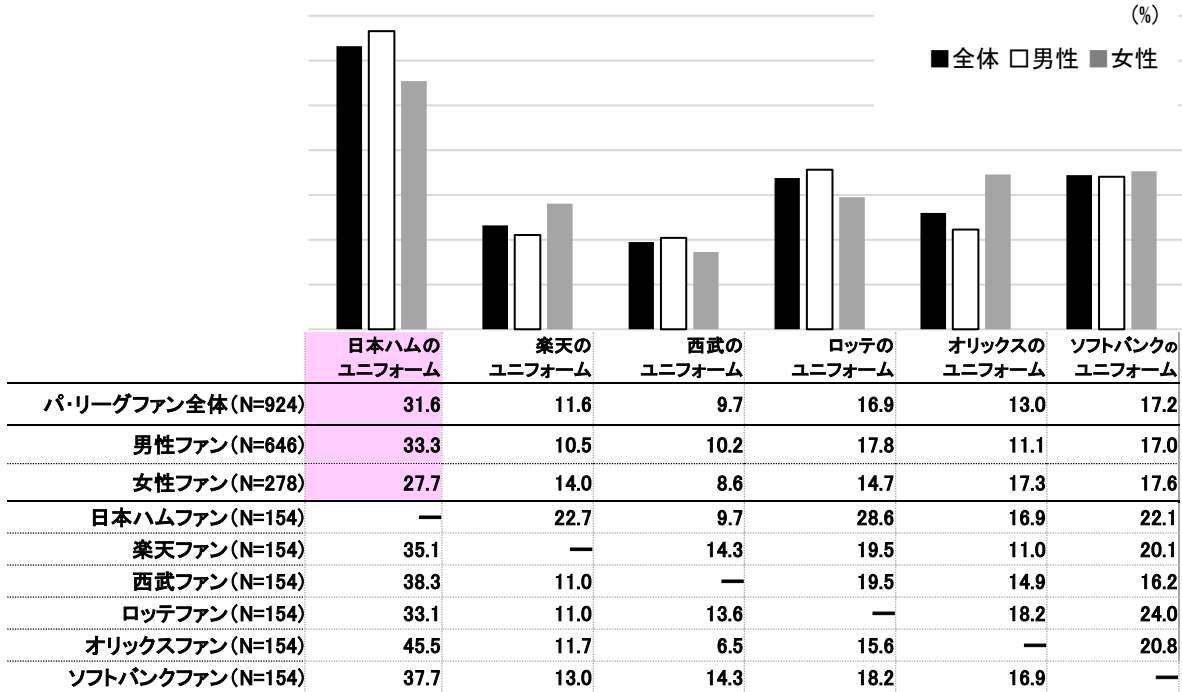


### (3) 男女別・球団別に見たファンの応援生態の違いとは？

#### パ・リーグファンが選ぶ、“最も女性ファンが可愛く見える他球団のユニフォーム”は日本ハム!!

ユニフォーム姿でスタンド観戦する熱心な女性ファンが年々各球場で増えてきています。そこで各球団のファンに「最も女性ファンが可愛く見える他球団のユニフォーム」について尋ねたところ、「日本ハムのユニフォーム姿が可愛い」と答えたファンが32%で最も多くいました。同性の女性ファンからも、日本ハムのユニフォーム姿は最も「可愛い」(28%)と支持を集めています。【図10】

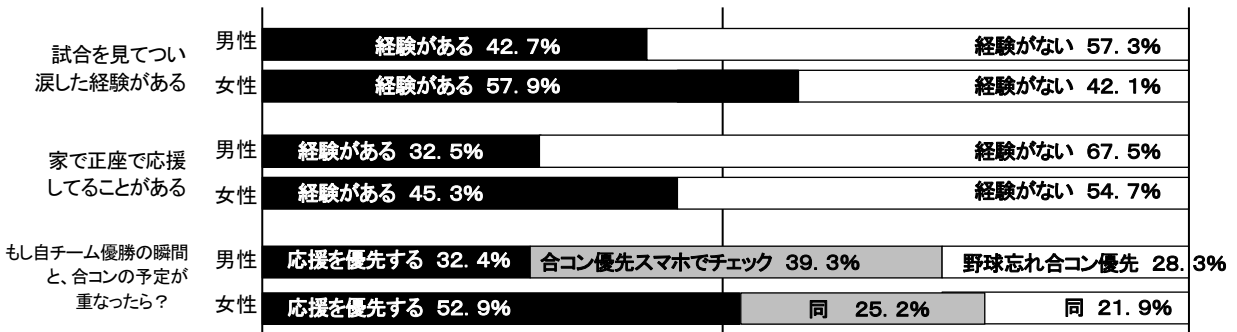
【図10】最も女性ファンが可愛く見えるユニフォーム姿はどここの球団？



#### 実は女性ファンの方が応援熱心?!「合コンよりも応援優先」する女性 53%、「応援より合コン優先」する男性 68%

“パ・リーグ女子”たちの応援熱は男性以上であることも今回の調査から窺い知ることができました。「試合を見てつい涙した経験がある」女性は58%(男性は43%)、「家だと正座してテレビ観戦しちゃう」女性が45%(男性は33%)と、より熱く真剣に“我がチーム”を応援していることが分かります。また「2017年シーズン自チーム優勝の瞬間と、合コンの予定が重なったら？」という問いをすると、女性ファンの53%は「合コンをキャンセルし応援を優先する」と答えたのに対し、男性ファンは68%が合コンを優先し「スマホで戦況を追う」か「終わるまで野球を忘れる」ことを選ぶと答えています【図11】。

【図11】男女別の応援熱(男性 N=646、女性 N=278)



## ランキングでみる【日本ハムファイターズ ファンの特長】

### 日ハムファンは“仕事も応援も手を抜かず”派！優勝が懸かった試合でもファンの52%「工作中なら経過を見ない」

「今シーズン自チーム優勝の瞬間と、仕事の重要な会議が重なったら？」という問いには、他5球団のファンの過半数がいずれも「仕事より応援・観戦を優先する」または「仕事しつつスマホ等で戦況をチェックする」と答えたのに対し、近年の優勝馴れゆえの余裕なのか、日本ハムファンの52%は「仕事が終わるまでは野球を忘れる」と答えています。日本ハムファンは「好きな選手がいるから」チームを応援する(50%)、「監督が好きだから」チームを応援する(23%)割合が、それぞれ他球団に比べ高い特長もあり“仕事も応援も手を抜かず派”のファンが多いようです。

自チーム優勝の瞬間が「仕事の重要な会議」と重なったら仕事を優先し「終わるまでは野球を忘れる」と答えた割合

1位 日本ハムファン	51.9%
2位 西武ファン	48.1%
3位 オリックスファン	45.5%
3位 ソフトバンクファン	45.5%
5位 ロッテファン	43.5%
6位 楽天ファン	41.6%
全体平均	46.0%

「好きな選手がいるから」チームを応援しているファンの割合

1位 日本ハムファン	50.0%
2位 ソフトバンクファン	40.3%
3位 楽天ファン	39.6%
4位 西武ファン	34.4%
5位 オリックスファン	33.8%
6位 ロッテファン	28.8%
全体平均	37.8%

「監督が好きだから」チームを応援しているファンの割合

1位 日本ハムファン	22.7%
2位 ソフトバンクファン	14.9%
3位 楽天ファン	12.3%
4位 ロッテファン	7.1%
4位 オリックスファン	5.8%
6位 西武ファン	5.2%
全体平均	11.4%

## ランキングでみる【東北楽天ゴールデンイーグルス ファンの特長】

### 楽天ファンは“何としても観たい・知りたい?”派！ファンの48%「エア予定を使って、応援を優先」の経験あり

前述の日本ハムファンとは正反対ともいえる傾向が、楽天ファンにあることが今回の調査では明らかになりました。楽天ファンは“観戦のためのエア予定”利用率が最も高く(48%)、彼らは「自身の体調不良」(27%)、「友人との別の予定」(21%)を主な言い訳にして観戦を優先しています。試合中「Twitter」「2ch」「LINE」などのソーシャル・コミュニケーション・ツールに書き込みながら観戦する、いわゆる“ソーシャル観戦”をするファンが最も多いファンも楽天ファン(48%)で、“何としても観たい知りたい?”派のファンが多数いることが分かりました。

観戦したいために本当は存在しない「架空の予定」を使ったことがある割合

1位 楽天ファン	48.1%
2位 西武ファン	46.8%
3位 日本ハムファン	37.7%
3位 ソフトバンクファン	37.7%
5位 ロッテファン	34.4%
5位 オリックスファン	34.4%
全体平均	39.8%

「Twitter」「2ch」「LINE」などに書き込みながら応援する“ソーシャル観戦”をしたことがある割合

1位 楽天ファン	47.4%
2位 日本ハムファン	44.2%
3位 西武ファン	39.6%
4位 ソフトバンクファン	36.4%
5位 ロッテファン	39.6%
6位 オリックスファン	34.4%
全体平均	39.2%

## ランキングでみる【埼玉西武ライオンズ ファンの特長】

### 西武ファンは“ちょっぴり短気?!の昔は良かった…”派！ファンの51%が「負けそうだと、直ぐにテレビはプツリ」

試合に旗色が悪くなるとどうしても、どのファンであっても機嫌は悪くなりがち。試合中継を見ながら観戦中に「負けを確信するとTVやパソコンの電源を落としてしまう」割合が最も高いのは西武ファンで、6球団の中で唯一過半数を超えています(51%)。西武ファンはチームを応援する理由として「かつて強いチームだったから」という理由を挙げる割合も最も高く(34%)、少年少女ファン時代に球団の黄金時代を過ごし、今でも変わらず熱く応援するファンに支えられるファン像が窺えました。

テレビ観戦中、「負けを確信すると電源を落としてしまう」割合

1位 西武ファン	50.6%
2位 ソフトバンクファン	47.4%
3位 楽天ファン	42.2%
4位 ロッテファン	42.2%
5位 日本ハムファン	41.6%
6位 オリックスファン	39.0%
全体平均	43.8%

「かつて昔は強かったから」応援しているファンの割合

1位 西武ファン	33.8%
2位 オリックスファン	19.5%
3位 楽天ファン	12.3%
3位 ソフトバンクファン	6.5%
5位 ロッテファン	5.8%
6位 日本ハムファン	0.6%
全体平均	13.1%

## ランキングでみる【千葉ロッテマリーンズ ファンの特長】

### ロッテファンは“スタンド応援が命”派！ファンの73%「外野スタンドで立って応援」、47%「風呂で応援歌を歌っちゃう」

ロッテファンは他球団のファンに比べ「外野スタンドで立って応援」した経験(73%)があるファンの割合が最も高く、「ユニフォームを3枚以上持つ」割合(50%)や「風呂で気づくと応援歌を歌っている」率(47%)についてもトップでした。応援たいを楽しむロッテファンの姿が見て取れます。

「外野スタンドで立って応援」の経験あるファンの割合

1位 ロッテファン	72.7%
2位 楽天ファン	67.5%
3位 ソフトバンクファン	66.2%
4位 西武ファン	61.0%
5位 オリックスファン	59.7%
6位 日本ハムファン	56.5%
全体平均	64.0%

「自分用ユニフォームを3枚以上持つ」ファンの割合

1位 ロッテファン	50.0%
2位 オリックスファン	45.5%
3位 楽天ファン	44.8%
3位 西武ファン	44.8%
5位 ソフトバンクファン	32.5%
6位 日本ハムファン	27.3%
全体平均	40.8%

「風呂で気づくと応援歌を歌っている」経験があるファンの割合

1位 ロッテファン	46.8%
2位 楽天ファン	43.5%
3位 西武ファン	42.2%
4位 オリックスファン	40.3%
4位 ソフトバンクファン	40.3%
6位 日本ハムファン	31.2%
全体平均	40.7%

## ランキングでみる【オリックスバファローズ ファンの特長】

### オリックスファンは“熱いが、家庭では肩身が狭い?!”派！ファンの42%が「家族がいるとリビングで試合見れない」

ファンの全てが家の中でテレビ観戦に熱中できるわけではありません。とりわけオリックスファンにはその傾向が顕著のようで、ファンの42%が「家族がいるとリビングでは試合中継を見れない」と答えています。一方で「応援中は人格が変わると言われる」割合が最も高い(34%)のが特長ですが、熱くチームは応援するものの、家庭内での肩身は狭いファンが多いことがオリックスファンの多いようです。

「家族がいるとリビングでは試合中継を見れない」ファンの割合

1位 オリックスファン	42.2%
2位 ロッテファン	38.3%
3位 楽天ファン	29.9%
4位 ソフトバンクファン	28.6%
5位 日本ハムファン	27.9%
5位 西武ファン	27.9%
全体平均	32.5%

「応援中は人格が変わると言われる」ファンの割合

1位 オリックスファン	33.8%
2位 楽天ファン	32.5%
3位 ロッテファン	30.5%
4位 西武ファン	26.0%
5位 日本ハムファン	24.0%
6位 ソフトバンクファン	18.2%
全体平均	27.5%



## ランキングでみる【福岡ソフトバンクホークス ファンの特長】

### ソフトバンクファンは“とにかく九州 LOVE?!”派！ファンの62%が「地元だからチーム応援」、41%「キャンプ行った」

「地元にあるチームだから」チームを応援する率が6球団のファンの中で最も中で最も高かったのはソフトバンクのファン(62%)でした。ソフトバンクファンは「春季キャンプへ応援に行った」ことがあるファンの割合(41%)も他球団に比べ突出して高く、本拠地・福岡～キャンプ地の宮崎まで自動車でも向かうことができる良アクセスもあり、熱心なファンは応援へ向かったようです。ソフトバンクファンは「応援歌を全て暗記している」割合(41%)も最も高く、溢れんばかりの“九州 LOVE”の地元ファンに支えられている球団像が見て取れます。

「地元にあるチームだから」チームを応援するファンの割合		「春季キャンプに行ったことがある」ファンの割合		「応援歌は全て暗記している」ファンの割合				
1位	ソフトバンクファン	61.7%	1位	ソフトバンクファン	40.9%	1位	ソフトバンクファン	40.9%
2位	日本ハムファン	57.8%	2位	西武ファン	33.1%	2位	ロッテファン	40.3%
3位	オリックスファン	53.9%	3位	オリックスファン	31.2%	3位	オリックスファン	34.4%
4位	ロッテファン	47.4%	4位	日本ハムファン	24.0%	4位	楽天ファン	31.8%
5位	楽天ファン	44.2%	5位	楽天ファン	23.4%	5位	西武ファン	31.2%
6位	西武ファン	40.9%	6位	ロッテファン	22.7%	6位	日本ハムファン	24.0%
全体平均		51.0%	全体平均		29.2%	全体平均		33.8%

### 各球団のファンが選んだ「歴代最強助っ人」は？ ソフトバンク No.1 にサファテ、西武 No.1 はデストラーデ

各球団のファンに「自分が愛するチームの歴代最強助っ人」について尋ねると、ソフトバンクのファンは、サファテ選手を挙げる声が26%で、他球団のファンとは異なり現役在籍選手を「最強助っ人」として推す声が多くなりました。一方で西武ファンはデストラーデ元選手を挙げる声が今でも最も多く(45%)、「昔は良かった」と黄金時代を懐かしむファンが多い特性が現れた結果となりました。各球団別の結果については以下の表をご覧ください【図12】。

【図12】各球団のファンが選んだ『伝説の助っ人』(上位5位のみ)

N=924(各球団ごとに N=154)

日本ハムファン選定 TOP5		楽天ファン選定 TOP5		西武ファン選定 TOP5	
レアード	34.4%	ジョーンズ(AJ)	28.6%	デストラーデ	45.5%
セギノール	14.9%	マギー	27.3%	カブレラ	27.3%
ソレイタ	9.7%	ホセ・フェルナンデス	7.1%	メヒア	3.9%
ウインスタース	5.2%	リック・ショート	4.5%	マルティネス	2.6%
スレッジ	4.5%	ウィーラー	3.2%	テリー	1.9%
ロッテファン選定 TOP5		オリックスファン選定 TOP5		ソフトバンクファン選定 TOP5	
ベニー	14.3%	ローズ	36.4%	サファテ	26.0%
レオン・リー	13.6%	ブーマー	14.3%	ズレータ	13.6%
ボーリック	10.4%	ペーニャ	4.5%	李大浩	9.7%
プリオ・フランコ	9.1%	ニール	4.5%	ペドラザ	5.2%
イ・スンヨブ	5.8%	ブライアント	3.2%	ファルケンボーグ	5.2%

## ■調査概要

調査主体:	スポナビライブ ※調査結果をご紹介いただける際には必ず、「スポナビライブ調べ」とご明記をお願い致します。 <u>スポナビライブは、スマートフォン、PC、テレビ等向けにプロ野球の配信を行うスポーツ中継ストリーミングサービスです。</u>
調査エリア:	日本全国
調査対象者:	20-60歳のプロ野球パ・リーグ各球団のファン*の男女 *シーズン中は毎日試合結果をウォッチしている各球団のファン
調査サンプル数:	924名（各球団154名ずつのファンを均等割付）
調査日:	2017年3月4～6日
調査方法:	インターネットリサーチ
特別ページ:	調査結果に基づくスポナビライブ特別ページは以下よりご覧頂けます。 (3月28日18:00公開予定) <a href="http://cf.sports.mb.softbank.jp/featured/npb_research/">http://cf.sports.mb.softbank.jp/featured/npb_research/</a>
備考:	図・グラフ中の選手名の記載は敬称を省略しています。ご了承くださいませ。

## ■スポナビライブとは

今シーズンもプロ野球の配信をはじめ、人気スポーツのライブ中継が見放題のスポーツ中継ストリーミングサービスが「スポナビライブ」(提供:ソフトバンク株式会社)です。

パ・リーグ各球団および横浜 DeNA ベイスターズ、阪神タイガース、東京ヤクルトスワローズ、中日ドラゴンズの今シーズンの全公式戦※1およびクライマックスシリーズ各試合のライブ中継を放映する他、海外サッカー(プレミアリーグ、リーガ・エスパニョーラ)、男子バスケットボール(B.LEAGUE)、男子プロテニス(ATP ワールドツアー)など人気スポーツを高品質な映像で気軽にご覧いただけます。

2017年3月16日よりフルHD対応をはじめ機能を拡充し、通常料金を月額3,000円から月額1,480円に値下げいたしました。さらに“ソフトバンク”や“ワイモバイル”をお使いのお客さま※2、Yahoo! JAPANが提供する月額会員サービス「Yahoo!プレミアム」(月額料:462円)に加入している他社のスマートフォン、タブレットをお使いのお客さまは、いずれも月額980円でお楽しみいただけます。現在、2017年5月のご利用分まで月額料金無料で視聴できる「スポナビライブ無料観戦キャンペーン」を実施中です。ぜひお試しください。

※1 中日ドラゴンズの一部公式戦は対象外となる場合があります。

※2 “ワイモバイル”は、「スマホプラン」「データプラン」「Enjoyパック」をご利用のお客さまが対象です。